

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
 担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道13号 大野目交差点改良	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：山形県山形市大野目一丁目 至：山形県山形市浜崎	延長	1.2km		

事業概要

一般国道13号は、福島市から秋田市に至る延長約350kmの主要幹線道路であり、山形県内を南北に縦貫し、かつ県都山形市と米沢市や新庄市等の主要都市を直結する県内陸部の社会経済活動を支える重要な路線である。大野目交差点改良は、山形市外環状道路を構成する一般国道13号と(都)天童鮭洗線の交差点において行う延長1.2kmの交差点立体化事業である。

事業の目的、必要性

大野目交差点改良は、渋滞の著しい一般国道13号の山形市街地北側流入部の交通混雑の緩和、交差点事故の減少、騒音や大気汚染等の環境改善を図るとともに、山形都市圏の環状道路ネットワークの交通円滑化や隣接する山形自動車道の山形北ICへのアクセスの向上により、地域間交流及び地域経済の活性化に大きく寄与するものである。

全体事業費	81億円		計画交通量	46,600台/日(立体部)	
費用対効果分析結果	B/C	4.5	総費用	68億円	
			（事業費：63億円 維持管理費：6億円）	総便益	308億円
				（走行時間短縮便益：292億円 走行費用減少便益：14億円 交通事故減少便益：3億円）	基準年：平成15年

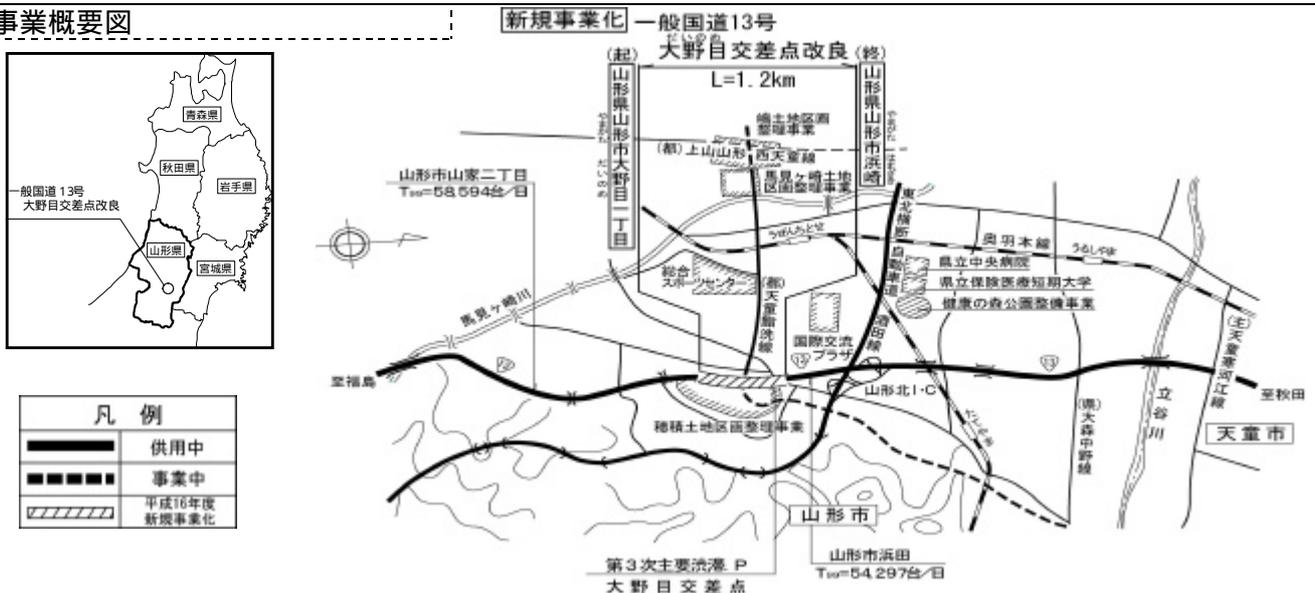
事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km未満である区間の改善が期待される）
 - ・都市の再生（広域道路整備基本計画の位置づけのある山形市外環状道路を形成する）
 - ・個性ある地域の形成（山寺等の観光地へのアクセス向上が期待される）
 - ・安全で安心できる暮らしの確保（三次医療施設の山形県立中央病院へのアクセス向上が期待される）
- 他11項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見

大野目交差点は、渋滞の著しい一般国道13号の交通混雑の緩和等に重要な役割を果たす事が期待されており、山形市長より早期整備の要望（平成15年7月22日）を受けている他、多くの団体等から同様の要望を受けている。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。